

第 9 回

熊本県議会

# 決算特別委員会会議記録

平成29年11月28日

(平成28年度決算)

(決算の認否・報告案)

開 会 中

場所 全 員 協 議 会 室

## 第 9 回 熊本県議会 決算特別委員会会議記録

平成29年11月28日(火曜日)

午前10時42分開議

午前10時57分閉会

本日の会議に付した事件

- 1 平成28年度一般会計、各特別会計、病院事業会計及び企業局3事業会計の決算認定等について

議案第44号 平成28年度熊本県一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第45号 平成28年度熊本県中小企業振興資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第46号 平成28年度熊本県母子父子寡婦福祉資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第47号 平成28年度熊本県収入証紙特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第48号 平成28年度熊本県立高等学校実習資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第49号 平成28年度熊本県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第50号 平成28年度熊本県臨海工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第51号 平成28年度熊本県育英資金等貸与特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第52号 平成28年度熊本県林業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第53号 平成28年度熊本県沿岸漁業改善資金特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第54号 平成28年度熊本市町村振興資金貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第55号 平成28年度熊本県流域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第56号 平成28年度熊本県高度技術研究開発基盤整備事業等特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第57号 平成28年度熊本県のチッソ株式会社に対する貸付けに係る県債償還等特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第58号 平成28年度熊本県公債管理特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第59号 平成28年度熊本県病院事業会計決算の認定について

議案第60号 平成28年度熊本県電気事業会計利益の処分及び決算の認定について

議案第61号 平成28年度熊本県工業用水道事業会計決算の認定について

議案第62号 平成28年度熊本県有料駐車場事業会計利益の処分及び決算の認定について

- 2 決算特別委員長報告について

出席委員(12人)

委員長 坂田 孝志  
副委員長 浦田 祐三子  
委員 村上 寅美  
委員 前川 收  
委員 氷室 雄一郎  
委員 藤川 隆夫  
委員 小早川 宗弘

委員 森 浩 二  
 委員 田 代 国 広  
 委員 内 野 幸 喜  
 委員 増 永 慎一郎  
 委員 磯 田 毅

欠席委員(なし)  
 委員外議員(なし)

---

説明のため出席した者

知事公室  
 公室長 坂 本 浩  
 秘書グループ課長 横 尾 徹 也

総務部  
 部長 池 田 敬 之  
 首席審議員兼人事課長 平 井 宏 英  
 首席審議員兼財政課長 竹 内 信 義

企画振興部  
 部長 山 川 清 徳  
 企画課長 沼 川 敦 彦

健康福祉部  
 部長 古 閑 陽 一  
 首席審議員兼  
 健康福祉政策課長 野 尾 晴 一 朗

環境生活部  
 部長 田 中 義 人  
 環境政策課長 田 村 真 一

商工観光労働部  
 部長 奥 藺 惣 幸  
 政策審議監兼  
 商工政策課長 中 川 誠

農林水産部  
 部長 濱 田 義 之  
 農林水産政策課長 千 田 真 寿

土木部  
 部長 手 島 健 司  
 監理課長 藤 本 正 浩

出納局  
 会計管理者兼出納局長 金 子 徳 政

企業局  
 局長 原 悟

次長兼総務経営課長 松 岡 大 智

病院局  
 病院事業管理者 永 井 正 幸  
 総務経営課長 緒 方 克 治

教育委員会  
 教育長 宮 尾 千 加 子  
 教育政策課長 江 藤 公 俊

警察本部  
 本部長 村 田 達 哉  
 参事官兼会計課長 木 村 浩 憲

人事委員会事務局  
 局長 田 中 信 行  
 総務課長 井 上 知 行

労働委員会事務局  
 局長 一 喜 美 男  
 審査調整課長 中 島 洋 二

議会事務局  
 局長 吉 田 勝 也  
 次長兼総務課長 中 島 昭 則

---

出納局職員出席者  
 会計課長 無 田 英 昭

---

監査委員・同事務局職員出席者  
 監査委員 豊 田 祐 一  
 局長 高 山 寿 一 郎  
 首席審議員兼監査監 小 原 信  
 監査監 手 嶋 章 人

---

事務局職員出席者  
 議事課主幹 門 垣 文 輝  
 議事課課長補佐 福 田 博 文

---

午前10時42分開議  
 ○坂田孝志委員長 皆さんおはようございます。

それでは、ただいまから第9回決算特別委員会を開会いたします。

本日は、本委員会に付託されました各決算関係議案の採決と閉会日に行う委員長報告に

ついて御審議をお願いいたします。

早速、議案の採決に入りますが、企業局関係議案のうち、議案第60号及び第62号については、決算認定とあわせて、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づく利益の処分について、それぞれ議決を求める内容となっておりますので、そのほかの議案と区分してお諮りいたします。

それではまず、議案第44号から第59号まで及び第61号について一括して採決したいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○坂田孝志委員長 御異議なしと認め、一括して採決いたします。

議案第44号から第59号まで及び第61号について、原案のとおり認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○坂田孝志委員長 御異議なしと認めます。よって、議案第44号から第59号まで及び第61号は、原案のとおり認定することに決定いたしました。

次に、議案第60号及び第62号について一括して採決したいと思います。御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○坂田孝志委員長 御異議なしと認め、一括して採決いたします。

議案第60号及び第62号について、原案のとおり可決及び認定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○坂田孝志委員長 御異議なしと認めます。よって、議案第60号及び第62号は、原案のとおり可決及び認定することに決定いたしました。

次に、委員長報告についてお諮りします。

ただいまから委員長報告(案)を配付させます。

(資料配付)

○坂田孝志委員長 まず、章立てにつきましては、前回の委員会でお諮りしたとおりでございます。

「第1 審査方針」は、第2回委員会で御了承いただいた内容を記載しております。

また、「第2 決算の概要」では、各会計の決算概要を簡単に記載しております。

「第3 歳入確保と予算執行」、「第4 施策推進上改善または検討を要する事項等」については、前回の委員会で御了承いただいた内容を記載しております。

「第5 結論」は、本日の採決結果に沿った内容となります。

それでは、担当書記に委員長報告(案)を朗読させます。

○前川収委員 委員長、前回との変更点だけ御説明いただければいいと思います。

○坂田孝志委員長 そのような形でもよろしゅうございますか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○坂田孝志委員長 それでは、前回やっておりますから、変更になった部分を御説明いただきたいと思います。よろしくお願ひします。訂正の下線部について説明をお願いします。

○門垣議事課主幹 それでは、済みません。7ページをお願いいたします。

7ページの真ん中から少し下になりますけれども、「以上」のところになりますけれども、「以上、平成28年度決算の全般的な事項について申し上げましたが、本県財政は、熊本地震に伴い、県税収入等は減収となったものの」というように修正をいたしております。

それと、下から2行目ですけれども、こちらを「一方で」というふうに修正をいたしております。

○前川収委員 3行目の「が」、「も」は。

○門垣議事課主幹 済みません、失礼いたしました。

3行目のところですが、「不用額を出している事業が」、前は「も」となっておりますけれども、ここを「が」というふうに修正をいたしております。

それと、8ページですが、真ん中ぐらいになります。8行目のところですが、「繰越事業も含め、施策の着実な推進を図るよう」というふうに修正をいたしております。

同じく、一番下の行になりますけれども、こちら「体制を整えるよう、求めるものがあります。」というふうに修正をいたしております。

同じく、9ページですが、下から3行目のところになりますけれども、「財政支援を継続的に働きかけるなど」と、それと2行目ですが、「財源確保に努めるよう、求めるものであります。」というふうに修正をいたしております。

続きまして、10ページですが、（共通）の4行目になりますけれども、その前の行から読ませていただきます。

「職員へ過度な業務の集中が生じないよう」、「に」をとっております。

同じく、12ページですが、企画振興部、4のところですが、こちらの下から2行目になりますけれども、前から読ませてもらいますと、「今後は、同様の事案が生じないよう」というふうに、こちら「に」をとっております。

それと、13ページですが、こちらと同じく環境生活部の6のところですが、下から3行目になりますけれども、「今後は、同様の事案が生じないよう」と、こちら「に」をとっております。

15ページになります。

土木部のところになりますけれども、「10職員による書類の偽造については」の後に「職員の規範意識の徹底を図るとともに」ということを書き加えております。

次に、17ページですが、15番、こちらを少し読ませていただきます。

「70歳以上の高齢運転者による交通事故が多発していることから、運転免許更新時等の高齢者講習や適性相談の充実に努めるとともに、運転免許証の自主返納を奨励すること。」というふうに変更をいたしております。

16番、こちらも読ませていただきます。

「警察職員の定員について、本県の警察官1人当たりの負担人口は、全国平均を上回り、九州でも一番多い中で、治安情勢の改善に向け努力されているが、更なる県民の安全・安心の確保のため、できるだけ定員を増員できるよう、引き続き努めること。」というふうに修正をいたしております。

最後、20ページ、「第5 結論」ですが、こちらのほうは、先ほどの採決の結果を踏まえて修正をいたしたいと思っております。

以上でございます。

○坂田孝志委員長 ただいま、修正箇所等について説明がございましたが、以上のような内容となりますが、委員長報告は、この案のとおり行うこととしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○坂田孝志委員長 異議なしと認め、それでは、そのように取り計らいます。

なお、軽微な字句の修正等がある場合には、委員長に一任していただいております。

（「はい」「異議なし」と呼ぶ者あり）

○坂田孝志委員長 そのようにいたします。

これで、本委員会の審議は全て終了しました。

ここで、執行部を代表して、金子会計管理者に御挨拶をお願いします。

○金子会計管理者 執行部を代表しまして、一言お礼を申し上げます。

平成28年度決算の認定につきましては、去る9月の定例県議会に御提案申し上げて以来、当委員会において、9回にわたる御審議の上、本日、一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算につきましては、可決及び認定との御決定をいただき、まことにありがとうございます。

この間、坂田委員長、浦田副委員長を初め、委員の皆様方におかれましては、熱心な御審議をいただきました。

その結果、委員長報告では、歳入確保と予算執行の中で、昨年12月に策定された熊本復旧・復興4カ年戦略に基づき、繰越事業も含め、施策の着実な推進を図ることとの御指摘や、大空港構想Next Stageの推進など新たな取り組みもしっかり展開できる体制を整えることとの御指摘をいただきました。

また、あわせて、一層の財政健全化に向けて、事務事業の効率的、計画的な執行などに取り組むとともに、国に対して財政支援を継続的に働きかけるなど、財源確保に努めるよう御指摘をいただきました。

さらに、施策推進上改善または検討を要する事項等の中では、震災関連業務に的確に対応するための人員の確保や職員の健康管理に関する御指摘など、共通事項として2項目、各部局別に17項目、計19項目について御指摘をいただいたところでございます。

私ども執行部といたしましては、これらの御指摘、さらには各部局の審議の過程で御指導いただきました事柄に十分留意いたしまして、適切な予算の執行を図り、効率的、効果的な行財政運営に努めてまいり所存でございます。

委員の皆様方におかれましては、今後とも

よろしく御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます、お礼の言葉とさせていただきます。

まことにありがとうございました。

○坂田孝志委員長 それでは、私のほうから一言お礼の御挨拶を申し上げます。ちょっと足が不自由ですので、座らせていただきます。

本日まで9回にわたり、決算特別委員会を開催してまいりました。その間、委員の皆様方には、熱心に御審議いただき、また、執行部におかれましても、御協力いただきましたこと、まことにありがたく、厚く御礼申し上げます。

県財政は、先ほどの委員長報告(案)の中でも触れておりますが、これまでの財政健全化の取り組みや熊本地震に係る国の手厚い支援により改善が見られる一方で、中期的には財源不足が見込まれるなど、厳しい財政運営となるおそれがあります。

このような中、平成28年度の各会計の決算状況を審査し、各委員から多くの御発言がございました。収入未済の解消や経費の節減に努めることはもとよりではございますが、議決された予算については、目的とする事業効果の発現に向けて、しっかりと執行することや、あるいは事業の一層の充実や内容の検討を求めるものも出されております。

執行部におかれましては、通常業務に加えて、熊本地震からの復旧・復興業務に限られた人員で取り組まれており、大変苦勞されているとは思いますが、引き続き、業務量のバランス、必要な人員の確保、職員の健康管理に十分留意しながら、御努力をお願いしたいと思います。

また、委員長報告に取り上げなかった事項につきましても、議会からの意見、ひいては県民の声として受けとめていただき、検討をお願いいたします。

最後になりますが、御協力いただきました委員の皆様方、また、執行部の方々、そして補佐していただきました浦田副委員長に対し、改めて心から感謝を申し上げまして、閉会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。

まことにありがとうございました。

これもちまして第9回決算特別委員会を閉会します。

大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

午前10時57分閉会

熊本県議会委員会条例第29条の規定により  
ここに署名する

決算特別委員会委員長